



シーズ名

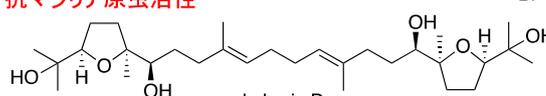
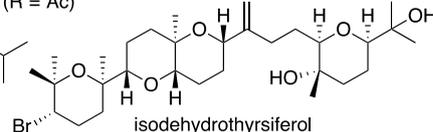
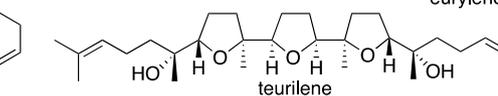
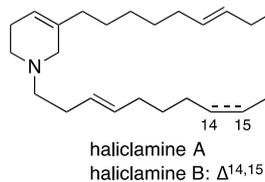
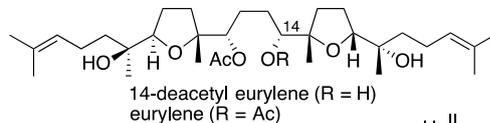
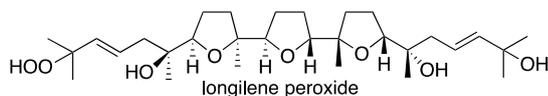
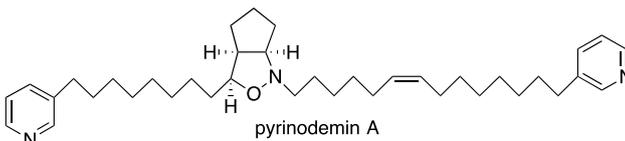
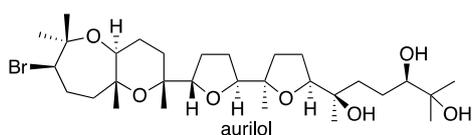
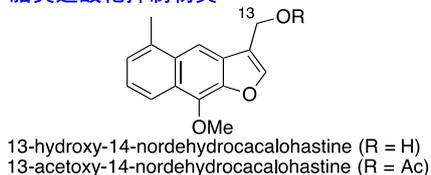
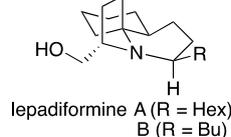
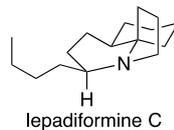
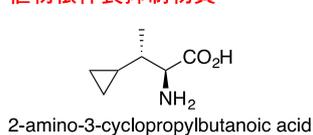
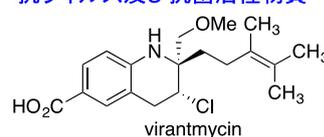
生物活性高次構造天然物の合成研究

氏名・所属・役職

森本善樹・理学研究科物質分子系専攻・教授

<概要>

自然科学の学問分野にあって化学の最も特徴的な側面の一つは、分子のレベルで物質を合成することができるということである。従って、自由自在に物質合成ができるということは物質を扱う科学研究の幅を大きく広げることになる。我々の研究室では、生命現象の担い手である天然有機化合物(構造学的、生物学的におもしろい二次代謝産物)を主な対象として、その全合成を研究の中心に据えながら物質合成のレベル向上に貢献したいと考えている。さらに、全合成研究から派生する様々な科学的側面にも興味を持ち、分子サイドの視点から生命現象の本質を理解したいと考えている。これまでに化学合成したいくつかの化合物を以下に示す。

細胞毒性物質**抗不整脈作用物質****脂質過酸化抑制物質****植物根伸長抑制物質****抗ウイルス及び抗菌活性物質****<アピールポイント>**

全合成を通して、自然界からは極微量しか得ることができない天然有機化合物を大量に供給することができ、対象天然物が生体内で果たす役割を解明するのにつながります。また合成研究の過程で生成した化合物の中から、医薬品のリードやリードとなる化合物が生まれることもあります。さらに天然有機化合物の化学構造をベースにした、自然界には存在しない人工類縁体も合成できるため、より強力な生物活性をもつ新化合物をデザイン合成することも可能です。

<利用・用途・応用分野>

医薬品・農薬・プロセスケミストリー・ライフサイエンス

<関連する知的財産権>

特願 1998-220451 過酸化脂質生成抑制剤及びこれを含有する組成物

<関連するURL>

研究室ホームページ: <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/chem/org2/index.html>

<他分野に求めるニーズ>

合成した化合物の生物活性評価

キーワード

全合成・天然物・生物活性物質・化学合成・大量合成・人工類縁体合成・リード化合物・リード化合物・医薬品